

カトウゴケ(ナワゴケ 科)

Palisadula katoi (Broth.) Z. Iwats.

兵庫県: Aランク

環境省: 準絶滅危惧

種の概要

一次茎ははい、二次茎は立ち上がって長さ3-6mm、葉を密につける。葉は長さ1-2.2mm、卵形~倒卵形で、深く凹み、葉先は急に狭くなって細く尖る。中肋は2叉して短い。か不明瞭。葉身細胞は狭六角形、長さ40-65 μ m、厚壁でくびれがある。翼部には数個の大形、薄壁の細胞があり、その上に小形で厚壁の細胞が集まる。蒴柄は長さ9-12mm、蒴は長卵形で直立し、外蒴歯は透明で平滑、上半部は規則的に孔があつて垣根状。胞子は径20-35 μ m。岩上、樹上に生えるが稀である。

国内分布

本州~九州

県内分布

夢前町

選定理由

人為性		特殊性		学術性		
生育環境破壊	観賞用等採取	特殊生育環境	特異な生態	特殊な分布	分布の限界	希少
						○



特記事項

特になし

保護上の留意点

生育地の保全